



JOIN US

山形北ロータリークラブ入会案内



120 万人以上の会員から成る世界的なネットワーク、ロータリーは、
世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、
人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

59th
SINCE 1968
YAMAGATA NORTH RC

2800 地区のテーマ | 地域の絆で明日に繋ぐ

山形北ロータリークラブのテーマ | ロータリーを知り 次代にインパクトをもたらす



新年祈願祭



North CUP 会長・幹事お疲れ様コンペ



早朝奉仕 馬見ヶ崎河川敷 / 薬師公園清掃



ひな祭り例会 (亀松閣)



ボルダーバレーロータリークラブとの姉妹クラブ締結継続



家族ピクニック



モンゴル米山学友会創立 10 周年の記念式典参加



モンゴル国会表敬訪問



コロラド州 BOLDER BOULDER 参加



スキー部活動



交換留学生受け入れ

山形北ロータリークラブの目的

- * (a) 「ロータリーの目的」の達成を目指すこと
- ** (b) 五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施すること
- (c) 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること
- (d) ロータリー財団を支援すること
- (e) クラブレベルを超えたリーダーを育成すること



それぞれの最上川物語 奉仕活動



アジア地区で唯一の参加となった「Epic Day of Service」 べにばなロード・友愛の森 整備清掃活動



Official Site

*

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

**

五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実質的な規準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、地域社会における積極的平和を目指すことにより、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、積極的平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである

入会費用および会費

入会費用は 30,000 円とする。

会費は年額 250,000 円とする。ただし、家族会員の会費については理事会の決定により上記の会費の 3 割を限度として減額することができるものとする。なお、在籍する家族会員の減額幅についてはその後の理事会の決定で変更することを妨げない。会費の各半年ごとの各支払額のうち米貨 6 ドルは各会員のロータリアン誌の購読料に充当するという諒解の下に、毎年 2 回 7 月 1 日および 1 月 1 日に納入すべきものとする。